

指定管理者候補の選定結果について(門司図書館、戸畑図書館)

北九州市立図書館の指定管理者候補について(概要)

1 指定管理者候補

- ・門司図書館(大里分館、新門司分館含む)
株式会社図書館流通センター
※応募状況 説明会参加:3団体、応募:3団体
※現在の指定管理者:株式会社日本施設協会

- ・戸畑図書館
株式会社日本施設協会
※応募状況 説明会参加:2団体、応募:2団体
※現在の指定管理者:株式会社日本施設協会

2 指定期間

- ・門司図書館 令和5年4月1日から令和9年3月31日(4年間)
- ・戸畑図書館 令和5年4月1日から令和10年3月31日(5年間)

3 選定方法

指定管理者の選定に当たっては、学識経験者や専門家等による指定管理者検討会を開催し、応募者から提出された事業計画書等に基づいて検討した。市は、検討会の検討結果を参考に指定管理者候補を決定した。

4 検討会

(1) 構成員名(5名)

[北九州市立図書館協議会]	中島 徹	(北九州市立図書館協議会委員)
[学識経験者]	中尾 泰士	(北九州市立大学副学長)
[市民代表者]	森 聖子	(北九州市身体障害者福祉協会常務理事)
[読書ボランティア関係者]	尾場瀬 淳美	(絵本専門士)
[財務関係専門家]	隈井 文生	(中小企業診断士)

(2) スケジュール

令和4年 9月30日 第1回検討会(提案者によるプレゼンテーション)
10月 7日 第2回検討会(提案資料検討)

(3) 検討結果(◎の団体を選定)

区 分	配 点	(株)日本施設協会	(株)図書館流通センター	シダックス大新東 ヒューマンサービス(株)
門司図書館	100	76	◎79	68
戸畑図書館	100	◎78		68

※得点については、(株)日本施設協会が市内団体であるため5点、(株)図書館流通センターが準市内団体であるため3点加算されている。

(4) 総合的な所見

① 門司図書館

- ・「日本施設協会」は、門司図書館の現在の指定管理者であり、長年の実績として安心感や信頼性はある。一方で、提案内容が総花的で特徴に欠けており、既存業務以外の新規事業も提案しているが、「多様化する住民ニーズに、より効果的、効率的に対応する」という指定管理の目的からは疑問が残るものとなっている。
- ・「シダックス大新東ヒューマンサービス」は、指定管理者が行う電子図書館や図書の宅配サービスなど斬新な提案を行ったことは評価できる。一方で、個々の提案内容の事業費があいまいであり、指定管理業務の提案でない将来的な可能性まで提案しており、実行性・信頼性に欠けると判断した。
- ・「図書館流通センター」は、全国での図書館運営や市内での図書館運営の豊富な実績がある。審査項目の「適性」「有効性」「適正性」については、3社の中で最高得点となっている。提案内容も、SDGsを視野に入れた内容、ユニバーサルツールの活用、障害者雇用など、「障害者差別解消法」や「読書バリアフリー法」をしっかりと踏まえたものとなっている。これらの取組などを総合的に判断した結果、「図書館流通センター」が指定管理者として相応しいと判断する。検討会における議論を十分に考慮し、最終決定を行うよう市に求めることとする。

② 戸畑図書館

- ・「シダックス大新東ヒューマンサービス」は、指定管理者が行う電子図書館や図書の宅配サービスなど斬新な提案を行ったことは評価できるものである。一方で、個々の提案内容の事業費があいまいであり、指定管理業務の提案でない将来的な可能性まで提案しており、実行性・信頼性に欠けると判断した。
- ・「日本施設協会」は、審査項目の「適性」「適正性」において、「シダックス大新東ヒューマンサービス」よりも高い得点となっている。提案内容が総花的で特徴に欠けているものの、戸畑図書館の現在の指定管理者であり、長年の実績として安心感や信頼性はある。加えて、事業内容や人員体制なども踏まえ、総合的に判断して「日本施設協会」が指定管理者として相応しいと判断する。検討会における議論を十分に考慮し、最終決定を行うよう市に求めることとする。
- ・なお、附帯意見として、「1Fでは、カウンター外で職員が活動しているのが見えず安全面での対応も必要」「図書館の構造上の問題もあるが、1Fについてはカフェスペースも含めにぎわいづくりの有効活用を図ってほしい」「地域コミュニティとの連携で建物構造上の欠点を強みにかえて欲しい」「職員に簡単にレファレンスを聞きたいと思わせる人的配置を工夫して欲しい」を附す。

5 選定結果

市は、検討会の検討結果を参考に以下のとおり指定管理者候補を選定した。

(1) 門司図書館 株式会社図書館流通センター

《主な選定理由》

- ・「これからの図書館サービスのあり方について」における基本的な方向性を踏まえた提案が分かり易くまとめられており、図書館に関する専門業者としての強みを発揮する提案となっている。
- ・「今のあたりまえを見直し、未来のあたりまえをつくる」というコンセプトやSDGsを視野に入れた魅力的な提案がある。
- ・財務書類及び事業計画書から長期に渡り安定的な管理運営を行う人的・財政的基盤を備えており、安定した管理運営ができると判断される。
- ・本市及び他都市での指定管理者の実績は豊富であり、専門的知識や資格・経験を活かした全国レベルの図書館サービスが期待できる。
- ・市が求める数値目標に沿った目標設定がなされており、子ども向け、大人向けのサービス充実

に向けた具体的な提案がなされている。

- ・PDC Aサイクルによる適正な予算執行や経理事務の考え方と取り組みなど図書館の管理運営に係る収支計画の内容は合理的であり、経費削減の取り組みも十分なされている。
- ・ユニバーサルデザインの明確化、心のバリアフリーの記載、講座時等の情報保障についての提案があり、他地域（岩手県や熊本県）での災害時における復旧支援の豊富な経験がある。

(2) 戸畑図書館 株式会社日本施設協会

《主な選定理由》

- ・現在、複数の市立図書館における指定管理者として管理運営実績と地域との関係団体との連携についての提案が評価できる。
- ・当該図書館の指定管理者として管理運営を行っている実績から、現在の職員の雇用を継続することにより、人的基盤の確保は見込まれる。
- ・現在、指定管理業務を受託している戸畑図書館職員の司書資格保有率は89%であり、職員は十分な知識と能力を有していると評価できる。
- ・子ども向け、大人向けの具体的な提案がされており、特に新規事業で提案されている「押し本」（利用者によるおすすめ本）企画は評価できる。
- ・地域の多様な施設や学校図書館との連携の推進に向け、読み聞かせボランティアの派遣など各種行事の開催に前向きに取り組む姿勢は評価できる。
- ・幅広く利用者の意見を積極的に収集し、意見に応えたサービス提供に取り組んでいる。

《参考》 要求水準

(1) 提案金額

(単位：千円)

区分 ()市の上限額	(株) 日本施設協会	(株) 図書館流通センター	シダックス大新東 ヒューマンサービス(株)
門司図書館 (79,300)	79,299	79,299	78,540
戸畑図書館 (74,300)	74,298		73,920

(2) 数値を用いた最低限度の要求水準

①株式会社図書館流通センター（門司図書館）

- 貸出者数 114,000人/年（要求水準：114,000人/年）
- 貸出冊数 434,000冊/年（要求水準：434,000冊/年）
- 読み聞かせ・お話し会開催回数 110回/年（要求水準：100回/年）

②株式会社日本施設協会（戸畑図書館）

- 貸出者数 134,000人/年（要求水準：133,000人/年）
- 貸出冊数 495,000冊/年（要求水準：494,000冊/年）
- 読み聞かせ・お話し会開催回数 96回/年（要求水準：96回/年）

指定管理者候補の選定結果について（門司図書館）

下記のとおり、指定管理者の「候補」が選定されました。指定管理者の指定については、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を経る必要があり、令和4年12月議会の議決により指定することとなります。

記

1 指定概要

(1) 施設概要

名 称：北九州市立門司図書館
所 在 地：北九州市門司区老松町3番3号
施設内容：開館年月 明治43年6月（昭和39年1月建設）
延床面積 979㎡
構 造 鉄筋コンクリート造 地上3階建
蔵 書 数 144,838冊（令和4年4月現在）
貸出者数 30,026人（令和3年度）
貸出冊数 111,729冊（令和3年度）

名 称：北九州市立門司図書館大里分館
所 在 地：北九州市門司区高田二丁目2番18号（大里柳市民センター2階）
施設内容：開館年月 昭和48年5月（平成23年7月建設）
延床面積 585㎡
構 造 鉄筋コンクリート造 地上2階建（2階部分）
蔵 書 数 51,366冊（令和4年4月現在）
貸出者数 37,859人（令和3年度）
貸出冊数 150,815冊（令和3年度）

名 称：北九州市立門司図書館新門司分館
所 在 地：北九州市門司区吉志新町二丁目1番1号（新門司地区複合公共施設内）
施設内容：開館年月 平成19年3月
延床面積 480㎡
構 造 鉄筋コンクリート造 地上2階建（1階部分）
蔵 書 数 42,605冊（令和4年4月現在）
貸出者数 14,842人（令和3年度）
貸出冊数 63,952冊（令和3年度）

(2) 指定期間

令和5年4月1日～令和9年3月31日（4年間）

(3) 指定管理者候補の概要

名 称：株式会社図書館流通センター
所在地：東京都文京区大塚三丁目1番1号

主な業務内容：公共図書館、学校図書館を中心とした図書館運営業務の受託、図書館用書籍及び視聴覚資料（CD、DVD）の販売、図書館用書籍の加工（装備）、書誌データベース（TRC-MARC）の作成、販売。

2 指定の経緯

令和4年 7月14日	募集要項配布
令和4年 9月15日	募集締め切り
令和4年 9月30日	第1回指定管理者検討会の開催
令和4年10月 7日	第2回指定管理者検討会の開催
令和4年10月	指定管理者候補を決定

(1) 応募資格

法人、その他の団体で、本社、本店又は主たる営業所、事務所等を、事故など緊急な対処を要する事態が発生した場合に迅速に対応できる場所に有すること。（個人による応募は不可）また、募集説明会に参加していること。

グループでの応募も可能。その場合は、応募時に共同事業体を結成し、代表団体を定めていただき、上記の用件を、その代表団体に求める。

(2) 応募状況

説明会参加：3団体

応募件数：3団体（株式会社日本施設協会、株式会社図書館流通センター、シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社）

3 選定方法

指定管理者の選定に当たっては、学識経験者や専門家等による指定管理者検討会を開催し、応募者から提出された事業計画書等について検討した。市は、検討会の検討結果を参考に指定管理者候補を決定した。

4 検討会構成員

- ・[北九州市立図書館協議会] 中島 徹 （北九州市立図書館協議会委員）
- ・[学識経験者] 中尾 泰士 （北九州市立大学副学長）
- ・[市民代表者] 森 聖子 （北九州市身体障害福祉協会常務理事）
- ・[読書ボランティア関係者] 尾場瀬 淳美 （絵本専門士）
- ・[財務専門家] 隈井 文生 （中小企業診断士）

5 選定基準

選定基準（＝審査項目）及びポイント	
1	指定管理者としての適性
	(1) 公立図書館の管理運営に対する基本的考え方（理念・方針）
	・図書館運営の基本的視点、あるいは設置目的や性格（生涯学習施設、情報収集・発信拠点施設）を十分理解したうえで、図書館の役割認識及び運営理念（考え方）をもち、その内容が優れているか。
	・事業者の独自性（個性）が発揮されているか。

(2) 安定的な人的基盤や財政的基盤

- ・経営状況が良好で、長期にわたり安定的な管理運営を行う人的・財政的基盤等を有しているか。または、確保できる見込みがあるか。

(3) 管理運営実績や専門的知識を有する

- ・図書館運営の業務実績があり、一定の成果をあげているか。
- ・図書館運営の専門的知識や経験を有し、熱意や意欲が高いか。
- ・複数団体が共同して一つの応募団体となっている場合、それぞれの責任分担が明確になっているか。

2 管理運営計画の適確性

【有効性】

(1) 施設の設置目的の達成に関する取り組み

- ・施設の管理運営（指定管理業務）に係る事業計画の内容が図書館の効用を最大限に発揮し、設置目的（図書館管理運営の基本的な考え方）に沿った成果が得られるか。
以下の点を考慮した取り組み内容であるか。
- ・利用者ニーズに応えられる窓口対応や蔵書管理等に対する適正かつ具体的な提案はあるか。
- ・読書に親しむ子どもや大人を増やす具体的な提案があるか。
- ・中央図書館や子ども図書館、他の地区図書館との連携が図られているか。
- ・地区の幼稚園、保育園、小・中学校、特別支援学校、障害児童施設等との連携した取り組みについての提案があるか。
- ・区役所、市民センター、子育て関連施設、商業施設、レジャー施設等の多様な施設との連携した取り組みについて提案があるか。
- ・地元自治会、NPO・ボランティア団体、郷土史会等との連携した取り組みについて提案があるか。
- ・障害者の就労支援への貢献について具体的な提案があるか。
- ・読み聞かせボランティアの育成や子ども司書の養成等、子ども読書活動推進のための取り組みについて具体的な提案があるか。
- ・ホームページの作成・更新等、広報活動を通じて、利用者への情報提供が図られるような効果的な提案があるか。
- ・ボランティア活動支援や、利用者が参画できるイベントなど、親しみやすい図書館のための提案があるか。
- ・上記のほか、有効スペースの活用を通じて図書館の活性化に寄与する実現可能な提案があるか。

(2) 利用者の満足度

- ・利用者が気軽に図書館を利用出来るように、利用者からの意見を把握し、図書館サービスの質を維持・向上するための具体的な提案がなされているか。
- ・利用者からの苦情に対する対策（対応）が十分に考えられているか。
- ・利用者の抱えている課題解決を支援する取り組みについて、具体的な提案があるか。

【効率性】

(3) 指定管理業務に係る経費

- ・図書館の管理運営に係る費用が、効果的・効率的で妥当なものであるか。
- ・図書館の管理運営に係る収支計画の内容（収支見積書に記載の人件費・物件費・事業費及び項目など）が、合理的かつ妥当なものであるか。
- ・清掃、警備、設備の保守点検などの業務について、指定管理者から再委託が行われる場合、それらが適切な水準で行われているか。

【適正性】

(5) 管理運営体制など

- ・施設の管理責任者、組織・管理運営体制が明確に示されているか。
- ・運営にあたる人員配置は適正であるか。
- ・運営にあたる人員は必要な資格、経験などを有し、実践能力が高いか。
- ・図書館職員の能力向上（レファレンス等）のため、内部研修の実施など、研修体制について具体的な提案があるか。
- ・複数の図書館（本館と分館）を管理するための連携が図られているか。
- ・障害者の雇用に努めているか。

(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ・利用者の個人情報を保護するための対策が十分に考えられているか。
- ・利用者が平等に利用できるよう配慮されているか。
- ・館内美化に努めるとともに、日常の事故防止などの安全対策（盗難・痴漢・暴力行為）や、事故発生時の対応などが十分に考えられているか。
- ・防犯、防災対策や非常災害時（火災・台風・地震・水害）の危機管理体制などが十分考えられているか。

【評価レベル】

評価レベル	乗率	評価レベルの考え方
5	100%	特に優れている（市の要求水準を大幅に上回っている、高度な能力を有している）
4	80%	優れている（市の要求水準を上回っている、十分な能力を有している）
3	60%	普通（市の要求水準を満たしている、一応の能力を有している）
2	40%	多少不十分である（市の要求水準を下回っている、多少能力が乏しい）
1	20%	不十分である（市の要求水準を大幅に下回っている、能力が乏しい）
0	0%	劣っている（能力がほとんどなく、任せることに不安がある）

6 審査結果

(1) 評価レベル及び得点

団体名	選定基準 (=審査項目) 及びポイント	配点	評価レベル					平均	審査結果	得点
			構成員							
			A	B	C	D	E			
株式会社 日本施設協会	1 指定管理者としての適性									
	(1) 公立図書館の管理運営に対する理念、基本方針	5	4	4	5	3	3	3.8	4	4
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	5	4	3	5	4	4	4.0	4	4
	(3) 管理運営実績や専門的知識を有する	5	4	4	5	4	3	4.0	4	4
	2 管理運営計画の適確性									
	【有効性】									
	(1) 施設の設置目的の達成に関する取組み	30	4	4	4	4	3	3.8	4	24
	(2) 利用者の満足度	10	3	3	4	4	3	3.4	3	6
	【効率性】									
	(3) 指定管理者に係る経費	25	3	4	4	3	3	3.4	3	15
	【適正性】									
	(5) 管理運営体制など	10	4	3	4	3	3	3.4	3	6
	(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	10	3	4	5	4	3	3.8	4	8
	合計	100	71	75	85	72	61	—		71
地元団体に対する優遇措置 (5点)									76	
株式会社 図書館流通センター	1 指定管理者としての適性									
	(1) 公立図書館の管理運営に対する理念、基本方針	5	5	4	5	4	4	4.4	4	4
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	5	5	4	5	4	3	4.2	4	4
	(3) 管理運営実績や専門的知識を有する	5	5	5	5	4	4	4.6	5	5
	2 管理運営計画の適確性									
	【有効性】									
	(1) 施設の設置目的の達成に関する取組み	30	4	4	4	4	3	3.8	4	24
	(2) 利用者の満足度	10	3	4	5	3	3	3.6	4	8
	【効率性】									
	(3) 指定管理者に係る経費	25	3	5	3	2	3	3.2	3	15
	【適正性】									
	(5) 管理運営体制など	10	4	5	4	4	4	4.2	4	8
	(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	10	4	4	5	4	4	4.2	4	8
	合計	100	76	88	82	68	66	—		76
地元団体に対する優遇措置 (3点)									79	

シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	1 指定管理者としての適性									
	(1) 公立図書館の管理運営に対する理念、基本方針	5	4	3	3	3	4	3.4	3	3
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	5	2	4	5	2	3	3.2	3	3
	(3) 管理運営実績や専門的知識を有する	5	4	3	3	3	4	3.4	3	3
	2 管理運営計画の適確性									
	【有効性】									
	(1) 施設の設置目的の達成に関する取組み	30	5	3	3	3	4	3.6	4	24
	(2) 利用者の満足度	10	3	3	4	3	4	3.4	3	6
	【効率性】									
	(3) 指定管理者に係る経費	25	4	3	4	3	3	3.4	3	15
	【適正性】									
	(5) 管理運営体制など	10	2	3	4	3	4	3.2	3	6
	(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	10	3	3	5	3	4	3.6	4	8
合計	100	76	61	75	59	74	—		68	

※「平均」欄は小数点第1位まで記入。小数点第2位以下は切捨て

(2) 検討会における主な意見

①日本施設協会

- ・公立図書館等の運営実績から、専門的知識や資格、経験は十分であり、司書資格者は91%を超え、適切なサービスが期待できる。
- ・子ども向けのサービスから、地域の声を反映した大人向けイベントの実施等、数多くの提案は評価できる。
- ・これまでの運営実績もあり、能力は十分であるが、提案が総花的で特徴にかける印象がある。

②図書館流通センター

- ・「これからの図書館サービスのあり方について」における基本的な方向性を踏まえた提案が分かり易くまとめられている。
- ・豊富な実績を背景に、専門的知識や資格、経験を十分に有している。
- ・ユニバーサルツールの導入等、全国展開している団体のサービス水準を北九州市民に提供できるメリットは大きい。

③シダックス大新東ヒューマンサービス

- ・「子ども読書プラン」に言及するなど、若者向けの提案内容は評価できる。
- ・提案内容に新規性を感じる。電子図書館の整備やアプリを使った図書館サービスの提案は興味深い。
- ・障害のある人、要介護認定者、医療的ケア児、妊娠中の人等への宅配サービスの提案は新しい。

(3) 検討会における検討結果（総合的な所見）

「日本施設協会」は、門司図書館の現在の指定管理者であり、長年の実績として安心感や信頼性はある。一方で、提案内容が総花的で特徴に欠けており、既存業務以外の新規事業も

提案しているが、「多様化する住民ニーズに、より効果的、効率的に対応する」という指定管理の目的からは疑問が残るものとなっている。

「シダックス大新東ヒューマンサービス」は、指定管理者が行う電子図書館や図書の宅配サービスなど斬新な提案を行ったことは評価できる。一方で、個々の提案内容の事業費があいまいであり、指定管理業務の提案でない将来的な可能性まで提案しており、実行性・信頼性に欠けると判断した。

「図書館流通センター」は、全国での図書館運営や市内での図書館運営の豊富な実績がある。審査項目の〔適性〕〔有効性〕〔適正性〕については、3社の中で最高得点となっている。提案内容も、SDGsを視野に入れた内容、ユニバーサルツールの活用、障害者雇用など、「障害者差別解消法」や「読書バリアフリー法」をしっかりと踏まえたものとなっている。これらの取組などを総合的に判断した結果、「図書館流通センター」が指定管理者として相応しいと判断する。検討会における議論を十分に考慮し、最終決定を行うよう市に求めることとする。

7 選定結果

市は、検討会の検討結果を参考に、株式会社図書館流通センターを指定管理者候補に選定した。

(1) 選定された団体の主な提案内容

別紙「提案概要」のとおり

(2) 市における主な選定理由

- ・「これからの図書館サービスのあり方について」における基本的な方向性を踏まえた提案が分かり易くまとめられており、図書館に関する専門業者としての強みを発揮する提案となっている。
- ・「今のあたりまえを見直し、未来のあたりまえをつくる」というコンセプトやSDGsを視野に入れた魅力的な提案がある。
- ・財務書類及び事業計画書から長期に渡り安定的な管理運営を行う人的・財政的基盤を備えており、安定した管理運営ができると判断される。
- ・本市及び他都市での指定管理者の実績は豊富であり、専門的知識や資格・経験を活かした全国レベルの図書館サービスが期待できる。
- ・市が求める数値目標に沿った目標設定がなされており、子ども向け、大人向けのサービス充実に向けた具体的な提案がなされている。
- ・PDCAサイクルによる適正な予算執行や経理事務の考え方と取り組みなど図書館の管理運営に係る収支計画の内容は合理的であり、経費削減の取り組みも十分なされている。
- ・ユニバーサルデザインの明確化、心のバリアフリーの記載、講座時等の情報保障についての提案があり、他地域（岩手県や熊本県）での災害時における復旧支援の豊富な経験がある。

8 提案額

令和5年度	79,299千円
令和6年度	79,299千円
令和7年度	79,299千円
令和8年度	79,299千円

指定管理者候補の選定結果について（戸畑図書館）

下記のとおり、指定管理者の「候補」が選定されました。指定管理者の指定については、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を経る必要があり、令和4年12月議会の議決により指定することとなります。

記

1 指定概要

(1) 施設概要

名 称：北九州市立戸畑図書館
所 在 地：北九州市戸畑区新池一丁目1番1号
施設内容：開館年月 大正14年7月（平成26年3月建設）
延床面積 2,889㎡
構 造 鉄筋コンクリート造 地上2階・地下1階建
蔵 書 数 168,469冊（令和4年4月現在）
貸出者数 95,095人（令和3年度）
貸出冊数 370,940冊（令和3年度）

(2) 指定期間

令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）

(3) 指定管理者候補の概要

名 称：株式会社日本施設協会
所在地：北九州市戸畑区汐井町1番6号
主な業務内容：公共施設（図書館、体育館等）の維持管理及び委託業務
不動産の管理運営、人材の育成、能力開発、技術向上に関する教育業務等

2 指定の経緯

令和4年 7月14日 募集要項配布
令和4年 9月15日 募集締め切り
令和4年 9月30日 第1回指定管理者検討会の開催
令和4年10月 7日 第2回指定管理者検討会の開催
令和4年10月 指定管理者候補を決定

(1) 応募資格

法人、その他の団体で、本社、本店又は主たる営業所、事務所等を、事故など緊急な対処を要する事態が発生した場合に迅速に対応できる場所に有すること。（個人による応募は不可）また、募集説明会に参加していること。

グループでの応募も可能。その場合は、応募時に共同事業体を結成し、代表団体を定めていただき、上記の用件を、その代表団体に求める。

(2) 応募状況

説明会参加：2団体

応募件数：2団体（株式会社日本施設協会、シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社）

3 選定方法

指定管理者の選定に当たっては、学識経験者や専門家等による指定管理者検討会を開催し、応募者から提出された事業計画書等について検討した。市は、検討会の検討結果を参考に指定管理者候補を決定した。

4 検討会構成員

- ・[北九州市立図書館協議会] 中島 徹（北九州市立図書館協議会委員）
- ・[学識経験者] 中尾 泰士（北九州市立大学副学長）
- ・[市民代表者] 森 聖子（北九州市身体障害福祉協会常務理事）
- ・[読書ボランティア関係者] 尾場瀬 淳美（絵本専門士）
- ・[財務専門家] 隈井 文生（中小企業診断士）

5 選定基準

選定基準（＝審査項目）及びポイント	
1	指定管理者としての適性
	(1) 公立図書館の管理運営に対する基本的考え方（理念・方針）
	・図書館運営の基本的視点、あるいは設置目的や性格（生涯学習施設、情報収集・発信拠点施設）を十分理解したうえで、図書館の役割認識及び運営理念（考え方）をもち、その内容が優れているか。 ・事業者の独自性（個性）が発揮されているか。
	(2) 安定的な人的基盤や財政的基盤
	・経営状況が良好で、長期にわたり安定的な管理運営を行う人的・財政的基盤等を有しているか。または、確保できる見込みがあるか。
	(3) 管理運営実績や専門的知識を有する
	・図書館運営の業務実績があり、一定の成果をあげているか。 ・図書館運営の専門的知識や経験を有し、熱意や意欲が高いか。 ・複数団体が共同して一つの応募団体となっている場合、それぞれの責任分担が明確になっているか。
2	管理運営計画の適確性
	【有効性】
	(1) 施設の設置目的の達成に関する取り組み

- ・施設の管理運営（指定管理業務）に係る事業計画の内容が図書館の効用を最大限に発揮し、設置目的（図書館管理運営の基本的な考え方）に沿った成果が得られるか。
以下の点を考慮した取り組み内容であるか。
- ・利用者ニーズに応えられる窓口対応や蔵書管理等に対する適正かつ具体的な提案はあるか。
- ・読書に親しむ子どもや大人を増やす具体的な提案があるか。
- ・中央図書館や子ども図書館、他の地区図書館との連携が図られているか。
- ・地区の幼稚園、保育園、小・中学校、特別支援学校、障害児童支援施設等との連携した取り組みについての提案があるか。
- ・区役所、市民センター、子育て関連施設、商業施設、レジャー施設等の多様な施設との連携した取り組みについて提案があるか。
- ・地元自治会、NPO・ボランティア団体、郷土史会等との連携した取り組みについて提案があるか。
- ・障害者の就労支援への貢献について具体的な提案があるか。
- ・読み聞かせボランティアの育成や子ども司書の養成等、子ども読書活動推進のための取り組みについて具体的な提案があるか。
- ・ホームページの作成・更新等、広報活動を通じて、利用者への情報提供が図られるような効果的な提案があるか。
- ・ボランティア活動支援や、利用者が参画できるイベントなど、親しみやすい図書館のための提案があるか。
- ・上記のほか、対面朗読室やカフェスペースの活用を通じて、図書館の活性化に寄与する実現可能な提案があるか。

（２）利用者の満足度

- ・利用者が気軽に図書館を利用出来るように、利用者からの意見を把握し、図書館サービスの質を維持・向上するための具体的な提案がなされているか。
- ・利用者からの苦情に対する対策（対応）が十分に考えられているか。
- ・利用者の抱えている課題解決を支援する取り組みについて、具体的な提案があるか。

【効率性】

（３）指定管理業務に係る経費

- ・図書館の管理運営に係る費用が、効果的・効率的で妥当なものであるか。
- ・図書館の管理運営に係る収支計画の内容（収支見積書に記載の人件費・物件費・事業費及び項目など）が、合理的かつ妥当なものであるか。
- ・清掃、警備、設備の保守点検などの業務について、指定管理者から再委託が行われる場合、それらが適切な水準で行われているか。

【適正性】

（５）管理運営体制など

- ・施設の管理責任者、組織・管理運営体制が明確に示されているか。
- ・運営にあたる人員配置は適正であるか。
- ・運営にあたる人員は必要な資格、経験などを有し、実践能力が高いか。
- ・図書館職員の能力向上（レファレンス等）のため、内部研修の実施など、研修体制について具体的な提案があるか。
- ・障害者の雇用に努めているか。

(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ・利用者の個人情報を守るための対策が十分に考えられているか。
- ・利用者が平等に利用できるよう配慮されているか。
- ・館内美化に努めるとともに、日常の事故防止などの安全対策（盗難・痴漢・暴力行為）や、事故発生時の対応などが十分に考えられているか。
- ・防犯、防災対策や非常災害時（火災・台風・地震・水害）の危機管理体制などが十分考えられているか。

【評価レベル】

評価レベル	乗率	評価レベルの考え方
5	100%	特に優れている（市の要求水準を大幅に上回っている、高度な能力を有している）
4	80%	優れている（市の要求水準を上回っている、十分な能力を有している）
3	60%	普通（市の要求水準を満たしている、一応の能力を有している）
2	40%	多少不十分である（市の要求水準を下回っている、多少能力が乏しい）
1	20%	不十分である（市の要求水準を大幅に下回っている、能力が乏しい）
0	0%	劣っている（能力がほとんどなく、任せることに不安がある）

6 審査結果

(1) 評価レベル及び得点

団体名	選定基準（＝審査項目） 及びポイント	配点	評価レベル					平均	審査 結果	得点
			構成員							
			A	B	C	D	E			
株式会社 日本施設協会	1 指定管理者としての適性									
	(1) 公立図書館の管理運営に対する理念、基本方針	5	4	4	5	4	3	4.0	4	4
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	5	4	3	5	4	4	4.0	4	4
	(3) 管理運営実績や専門的知識を有する	5	4	4	5	4	3	4.0	4	4
	2 管理運営計画の適確性									
	【有効性】									
	(1) 施設の設置目的の達成に関する取組み	30	4	4	4	4	3	3.8	4	24
	(2) 利用者の満足度	10	3	3	4	3	3	3.2	3	6
	【効率性】									
	(3) 指定管理者に係る経費	25	3	4	4	3	3	3.4	3	15
	【適正性】									
	(5) 管理運営体制など	10	4	3	4	4	3	3.6	4	8
	(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	10	3	4	5	4	3	3.8	4	8
	合計	100	71	75	85	73	61	—		73
地元団体に対する優遇措置（5点）									78	
シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	1 指定管理者としての適性									
	(1) 公立図書館の管理運営に対する理念、基本方針	5	4	3	3	3	4	3.4	3	3
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	5	2	4	5	2	3	3.2	3	3
	(3) 管理運営実績や専門的知識を有する	5	4	3	3	3	4	3.4	3	3
	2 管理運営計画の適確性									
	【有効性】									
	(1) 施設の設置目的の達成に関する取組み	30	5	3	3	3	4	3.6	4	24
	(2) 利用者の満足度	10	3	3	4	3	4	3.4	3	6
	【効率性】									
	(3) 指定管理者に係る経費	25	4	3	4	3	3	3.4	3	15
	【適正性】									
	(5) 管理運営体制など	10	2	3	4	3	4	3.2	3	6
	(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	10	3	3	5	3	4	3.6	4	8
	合計	100	76	61	75	59	74	—		68

※「平均」欄は小数点第1位まで記入。小数点第2位以下は切捨て

(2) 検討会における主な意見

①日本施設協会

- ・応募団体はこれまでも当該図書館の運営に関わっていることから、経験やスキルが豊富であり、より快適な読書環境の維持改善に向けた取り組みが期待できる。
- ・長年にわたり、地域図書館の運営をしており、職員全体で問題解決に前向きに取り組む姿勢が見受けられる。
- ・これまでの運営実績を踏まえ、指定管理者としての適性、管理運営体制に十分な能力を有していると評価できる。

②シダックス大新東ヒューマンサービス

- ・「子ども読書プラン」に言及するなど、若者向けの提案内容は評価できる。
- ・提案内容に新規性を感じる。電子図書館の整備やアプリを使った図書館サービスの提案は興味深い。
- ・障害のある人、要介護認定者、医療的ケア児、妊娠中の人等への宅配サービスの提案は新しい。

(3) 検討会における検討結果（総合的な所見）

「シダックス大新東ヒューマンサービス」は、指定管理者が行う電子図書館や図書の宅配サービスなど斬新な提案を行ったことは評価できるものである。一方で、個々の提案内容の事業費があいまいであり、指定管理業務の提案でない将来的な可能性まで提案しており、実行性・信頼性に欠けると判断した。

「日本施設協会」は、審査項目の〔適性〕〔適正性〕において、「シダックス大新東ヒューマンサービス」よりも高い得点となっている。提案内容が総花的で特徴に欠けているものの、戸畑図書館の現在の指定管理者であり、長年の実績として安心感や信頼性はある。加えて、事業内容や人員体制なども踏まえ、総合的に判断して「日本施設協会」が指定管理者として相応しいと判断する。検討会における議論を十分に考慮し、最終決定を行うよう市に求めることとする。

なお、附帯意見として、「1F では、カウンター外で職員が活動しているのが見えず安全面での対応も必要」「図書館の構造上の問題もあるが、1F についてはカフェスペースも含めにぎわいづくりの有効活用を図ってほしい」「地域コミュニティとの連携で建物構造上の欠点を強みにかえて欲しい」「職員に簡単にレファレンスを聞きたいと思わせる人的配置を工夫して欲しい」を附す。

7 選定結果

市は、検討会の検討結果を参考に、株式会社日本施設協会を指定管理者候補に選定した。

(1) 選定された団体の主な提案内容

別紙「提案概要」のとおり

(2) 市における主な選定理由

- ・現在、複数の市立図書館における指定管理者として管理運営実績と地域の関係団体との連携についての提案が評価できる。
- ・当該図書館の指定管理者として管理運営を行っている実績から、現在の職員の雇用を継続することにより、人的基盤の確保は見込まれる。
- ・現在、指定管理業務を受託している図書館の司書資格保有率は84.1%であり、職員は

十分な知識と能力を有していると評価できる。

- ・子ども向け、大人向けの具体的な提案がされており、特に新規事業で提案されている「押し本」(利用者によるおすすめ本) 企画は評価できる。
- ・地域の多様な施設や学校図書館との連携の推進に向け、読み聞かせボランティアの派遣等各種行事の開催に前向きに取り組む姿勢は評価できる。
- ・幅広く利用者の意見を積極的に収集し、意見に応えたサービス提供に取り組んでいる。

8 提案額

令和5年度	74,298千円
令和6年度	74,298千円
令和7年度	74,298千円
令和8年度	74,298千円
令和9年度	74,298千円

提 案 概 要

(北九州市立門司図書館 指定管理者)

団体名：株式会社図書館流通センター

1 指定管理者としての適性について

<p>(1) 公立図書館の管理運営に対する基本的考え方（理念・基本方針）</p> <p>わたしたちは、新たな時代の中で、図書館が北九州市の抱える様々な課題に積極的に取り組み、市民や地域社会を巻き込みながら、図書館の新たな価値を創造していく必要があると考えています。北九州市が示された「これからの図書館サービスのあり方について」を基本とし、市民の皆さんの図書館に「もっと訪れたい もっと使いたい もっと参加したい」の実現のために、弊社が掲げる図書館運営理念を元とした専門企業としてのノウハウ・豊富な運営実績を適切に提供します。</p> <p>また、昨今重要視されるコンプライアンス徹底のための体制を構築するとともに、持続可能な社会のためにSDGsにも積極的に取り組んでいます。</p> <p>さらに、わたしたちは図書館の新館計画・移転計画にも多く携わっており、これらの経験を活かし門司図書館の新館移転計画に協力します。</p>
<p>(2) 安定的な人的・財政基盤</p> <p>財務諸表をご参照いただければ、売上高等の企業の安定性を示す指標からも良好な財務状況と業務遂行に適切な経営体質が備わっていることがご確認いただけます。</p> <p>スタッフが安心して働くことのできる労働環境整備と安定雇用のために、図書館で働くスタッフに特化した、独自の人事制度や福利厚生制度、研修制度を確立しています。北九州市をはじめとした九州内に500人を超える図書館スタッフを有しています。</p>
<p>(3) 管理運営実績や専門的な知識を有する</p> <p>図書館総合支援企業として全国で560館の図書館運営に携わり、地域の課題と向き合いながら、それぞれの施設に合わせたサービスの提供を行い、地域に密着した事業展開を進めてきました。これらの事業を推進するための会社体制を確立するとともに、各部署には図書館を支えるための様々な資格所有者が在籍しています。また、会社としても適切な許認可登録をするとともに、不測の事態に備えた各種の保険に加入しています。</p>

2 管理運営計画の適確性

<p>【有効性】に関する取り組み</p>
<p>(1) 施設の設置目的の達成に関する取り組み</p> <p>利用者である市民の皆様にご気持ち良くご利用いただくために、特にカウンター業務では、上質なサービス提供が求められます。スタッフ全員が接遇についての意識を高めるために、研修を強化します。また、資料管理や書架整理といった図書館業務の基本的な部分をあらためて見直し、市民サービスの向上と業務の効率化を目指します。</p> <p>多くの方に図書館に来館してもらい、読書に親んでもらうための様々な事業を企画します。幼児から高齢者まで、様々な方に喜んでいただける企画とするとともに、世代間の交流が生まれるような工夫を凝らします。企画に際しては、図書館独自に行うだけでなく近隣の様々な施設と連携協力し、市民が参加できる企画の開催など地域の活性化につながるような取り組みとします。また、これらの企画に協力いただけるボランティアを積極的に育成し、市民と共に新たな図書館の価値を育てていきます。</p> <p>自動販売機を設置し、より快適に図書館で過ごしていただける空間とします。</p>

(2) 利用者の満足度
<p>利用者が抱えている課題、求めている情報を正しく理解・把握し、迅速かつ確実な課題解決につなげるためレファレンスサービスを強化します。日々の業務での対応だけでなく、研修によるスタッフ育成に努めます。</p> <p>より多くの市民に図書館の存在を知ってもらい、図書館が地域のふれあいの場となり、住民交流を促す施設となるため近隣施設への出張読み聞かせ等のアウトリーチサービスを行います。</p> <p>利用者の満足度向上のためには、社内外の情報共有は必須であると考えます。社内での体制のみでなく、中央図書館及び北九州市とのしっかりとした連絡体制を確立します。</p>

【効率性】に関する取り組み
(1) 指定管理業務に係る経費について
<p>指定管理者として適正な予算執行を心がけます。経費縮減と図書館サービスの向上のバランスをよく考え、両輪で回していくことが重要であると考えます。常にコスト意識を持ち、課題を出し、改善策を講じ、検証を繰り返します。最低限のコストで、利用者に喜ばれるサービスの提供と充実を実現できると考えます。毎月、業務の進捗と予算の執行を確認し、予算を効果的に使っているかを確認し、計画を調整します。PDCAサイクルによる継続的な見直しにより、予算を最大限効果的に使用できるように努めます。</p>
(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性
<p>わたしたちは提供するサービスの質を低下させることなく、あらゆる面で業務の見直しや改善を行います。汎用的に導入できる改善内容をまとめた「業務改善ガイドライン」を参考に実践します。また、本社及び九州支社で集中して管理できる業務は専門部署による処理を行います。全国で多くの図書館の運営に携わるわたしたちだからこそできる管理体制です。</p>

【適正性】に関する取り組み
(1) 管理運営体制など
<p>館長を中心とした副館長及び各部門責任者による責任者グループを形成し、情報共有、スタッフ配置・研修等の検討を行い、生涯学習の拠点、情報発信の場となることを目指します。また責任者グループは、現在も責任者として業務を行っているスタッフを可能な限り継続登用し、安定的な運営を行っていきます。また、館長については、既に館長経験のある経験豊富な人物を配置します。</p> <p>本社内に図書館運営に特化した専門部署を設置し、図書館現場をバックアップします。</p> <p>公共図書館で働くために必要な資質の育成のための理念をしっかりともち研修を行います。体系的な研修プログラムにより、スタッフの経験等に即した研修を行います。</p>
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など
<p>様々な自然災害や人的トラブルの事例を元に「危機管理マニュアル」を制定しています。本マニュアルでは、災害対応と人的トラブルの両面から、汎用的な危機管理スキームを定めています。万が一危機管理事案が発生した際には利用者の安全を第一に考え、迅速に対応します。また事件・事故は何よりも未然に防ぐことが重要と考え、日々の業務の中での安全管理を徹底します。</p>

提案額（千円） [千円未満切上げ]

5年度	79,299千円
6年度	79,299千円
7年度	79,299千円
8年度	79,299千円

提 案 概 要

(北九州市立戸畑図書館 指定管理者)

団体名： 株式会社 日本施設協会

1 指定管理者としての適性について

<p>(1) 公立図書館の管理運営に対する基本的考え方 (理念・基本方針)</p> <p>わたしたちは「人と人、情報と情報を つなぎ続ける図書館」を基本コンセプトに、図書館の基本的あり方を踏まえ、地域と連携しながら、サービスの充実を図ります。</p> <p>そのために「これからの図書館サービスのあり方について」(平成 28 年 7 月 北九州市立図書館協議会答申)に沿い、その実現に努めます。北九州市立図書館がめざす 3 つの方向性 (◎ これまでの図書館サービスをさらに充実させる。◎ 市民が抱える課題の解決を支援する。◎ 子どもの読書活動を積極的に推進していく。)を踏まえ、これらを担う図書館職員や地域の人材の能力向上を図ります。また、5 つの視点 (◎ 多様な施設とつながる図書館 ◎ 市民の課題解決を支援する図書館 ◎ 子どもの読書活動を積極的に推進する図書館 ◎ 誰もが使いやすく、人や情報が交流する図書館 ◎ 市民参画型図書館) から、具体的な事業を実施してまいります。</p> <p>また、令和元年に施行された「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(読書バリアフリー法)や、北九州市子ども読書プラン (第 4 次北九州市子ども読書活動推進計画)に沿って、国全体、市全体の活動に寄与することを基本方針とします。</p>
<p>(2) 安定的な人的・財政基盤</p> <p>当社が受託中の北九州市立図書館全体の司書資格保有率は 84.1%に上り、また 100 人以上(令和 4 年 8 月 4 日現在)の図書館司書有資格者、専門性の高い業務経験者を有して、人材の連携・融通を行い、常に高い水準のサービスを安定して提供することが可能です。</p> <p>また、当社は「北九州 SDGs 登録制度」の登録事業者であり、目標 5「ジェンダー平等を実現しよう」において、女性の従業員比率向上を実施しており、近年では有資格者の中から、館長・次長といった管理職への登用も積極的に行っております。</p> <p>財政基盤においても、多くの業務委託、指定管理、PFI 事業の運営を担い、過去いずれの決算期においても安定した収支で運営を行っています。</p> <p>また、弊社発行の寄付/SDGs 認証支援型「新型コロナ対策支援 私募債『感謝のココロ』」について、西日本シティ銀行が引き受けを行うなど、財務内容の優良性が証明されております。本私募債は新型コロナウイルス感染症対策基金等に発行額に応じ寄付をするもので、寄付を通じて地域医療の維持・強化に貢献しております。</p> <p>戸畑図書館では、平成 17 年度以降、当社が継続して受託し、長期にわたって安定的な運営を継続してきた実績があります。</p>
<p>(3) 管理運営実績や専門的な知識を有する</p> <p>当社は平成 17 年度の北九州市立図書館への指定管理者制度の導入から 17 年間、継続して安定運営しており、北九州市立中央図書館における窓口業務や図書装備、納入業務など、カウンター業務から裏方作業まで図書館運営に精通しているのが強みです。また北九州パレスや北九州スタジアムなど複数の施設も受託中であり、様々な施設の運営・維持管理の実績も豊富です。これら施設の管理職、職員は定期的に交流、また情報共有し、多様な運営ノウハウを日々積み重ねています。</p> <p>戸畑図書館は司書資格保有者 15 名、司書資格保有率 88.2% (令和 4 年 8 月 4 日現在) の高い専門性をもって現在も管理運営中であり、日々の業務による実績を積み重ね、研修等によるさらに高いサービスの提供を目指します。</p>

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取り組み
<p>(1) 施設の設置目的の達成に関する取り組み</p> <p>以下の5つの視点から具体的な事業を実施していきます。</p> <p>1. 多様な施設とつながる図書館 近隣の北九州市立美術館をはじめ、市民センター、学校、幼稚園、保育園、ボランティア、郷土史会等と連携することで地域情報のハブとなる図書館づくりに取り組みます。</p> <p>2. 市民の課題解決を支援する図書館 あらゆる機会を捉えて市民ニーズの把握に努め、適正な蔵書管理、レファレンスサービスの一層の充実や収集・除籍・保存といった基本業務を的確に行うことで、市民が気軽に疑問や課題を調べることができる拠点づくりを行います。</p> <p>3. 子どもの読書活動を積極的に推進する図書館 令和2年度策定の「北九州市子ども読書プラン」に沿い、読み聞かせ会や工作会の実施、工夫された特別設置コーナーを通じて子どもの「本への興味」を醸成し、「家読(うちどく)」活動を進めるほか、周産期の母親や家庭を対象とした読み聞かせ講座も実施します。また学校図書館職員との連携などを通じ、「調べ学習」や図書館を活用した授業支援を行います。</p> <p>4. 誰もが使いやすく、人と情報が交流する図書館 人と人をつなげ、地域コミュニティの核となる図書館づくりを目指します。そのために接遇向上を徹底し、読書バリアフリー法の理念に則って障がいをもつ方も使いやすい図書館サービスを追求するほか、文化・観光情報の提供を通じ、地域情報が集う図書館を実現します。</p> <p>5. 市民参画型図書館 「意見・要望箱」を設置して市民からのご意見等を図書館運営に生かします。また、利用者による文芸作品、連携する学校の生徒による制作物の展示等を通じて潜在的なニーズの把握につなげつつ、「垣根の低い図書館」「親しめる図書館」づくりを進めてまいります。</p> <p>現在、戸畑図書館では、特別支援学校「北九州中央高等学園」の職場体験学習の受入れ、生徒たちが作った作品の展示など、同校との連携強化を進めており、障がいを抱えた生徒たちの育成や就業支援を図っております。そして九州工業大学・北九州市立美術館・北九州市立文学館等との連携をさらに深め、「文教地区・戸畑」の中心施設としての役割を、これからも担ってまいります。</p>
<p>(2) 利用者の満足度</p> <p>利用者満足度の向上には窓口職員の資質が重要です。接遇や個人情報保護、危機管理のほか郷土資料やレファレンスなど専門研修に積極参加して人材育成を図り、サービス向上を図ります。意見・苦情については迅速・真摯に対応し、施設・設備やサービス面での利用者からの要望は北九州市立中央図書館とも相談しサービス向上に努めてまいります。なお、直近4年間の戸畑図書館の利用者アンケートによると「対応の親切さ」で平均96%が「満足」との結果が出ており、質の高いサービスを提供できています。</p>
【効率性】に関する取り組み
<p>(1) 指定管理業務に係る経費について</p> <p>基本的な運営部分以外の清掃、警備、保守点検、維持管理などは必要に応じて外部委託します。利用者の安全・安心と快適性を第一に考え、サービスや安全確保に直結する経費の削減は慎重に行います。事務作業等バックヤードに関する経費は絶えずスリム化を図り、費用対効果の高い運営を工夫していきます。</p>
<p>(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性</p> <p>当社が有する様々な施設での運営実績から、適正なスタッフ体制、配置はもとより、適正な収支計画と外部委託を実施することが可能な計画となっています。前述の通り、効率性を念頭に置きつつ、提供するサービスの質や安全性も考慮した適切な経費削減に努めます。</p> <p>今までの戸畑図書館の運営実績、また、運営する他館の実績を参考に適正な収支計画を作成致します。実績に基づく計画ですので実現可能性は高いと思われれます。</p>

【適正性】に関する取り組み	
(1) 管理運営体制など	
<p>有事に即応できるよう本社、各施設で迅速適切に情報共有する管理運営体制を構築します。運営スタッフの9割近くは司書有資格者で、大部分が5年以上の図書館業務経験者ですが、さらに資質向上を図り、個人情報並びに危機管理等の研修に積極参加、また実施します。</p> <p>館長は図書館運営の総括責任者として危機管理をはじめ、あらゆる事態の責任者として対応し、館長不在時は次長が代行します。開館中は館長・次長のうち必ず1名が常駐します</p>	
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	
<p>当社は財団法人日本情報処理開発協会認定の「プライバシーマーク」を取得しております。個人情報の適切な取り扱いを行い、差別や偏りのない対応と運営を行います。特定の団体・個人が利用に際して有利・不利とならないよう、また、高齢者や障がい者の方の利用が妨げられないよう合理的に配慮し、公正な運営に努めます。安全・防災対策については、日常点検を密にし、緊急時に迅速かつ適切な行動を行えるよう「北九州市地域防災計画」の把握に努め、「危機管理マニュアル」に基づき対策を徹底します。危機管理体制については、緊急事態発生時は「緊急連絡網」により本社や職員及び中央図書館等の関係各部署と迅速・正確に情報共有できる体制を確保します。</p>	

提案額（千円） [千円未満切上げ]

5年度	74,298千円
6年度	74,298千円
7年度	74,298千円
8年度	74,298千円
9年度	74,298千円（※ 門司図書館はR9年度の記載は不要）

※ 提案概要は、提案書の内容を2枚程度（A4）にまとめてください。

北九州市立図書館指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 第1回 令和4年9月30日(金) 13:00～15:55
第2回 令和4年10月7日(金) 15:00～17:10
- 2 場 所 北九州市立子ども図書館 2階 大研修室
- 3 出席者 (検討会構成員) 尾場瀬委員、隈井委員、中島委員、中尾委員、森委員
(事務局) 教育委員会中央図書館長、副館長(子ども図書館長)
運営企画課長、奉仕課長、庶務係長、奉仕係長、担当者
子ども図書館企画係長

4 会議内容

[第1回検討会]

- 構成員の互選により、座長を選出。
- 議事次第、選定基準、採点上の注意事項等について、事務局より説明。
- 応募団体((株)日本施設協会)より、門司図書館・戸畑図書館の提案概要に関してヒアリング及び質疑応答を実施。

(構成員) 学校図書館との連携について、中央図書館や子ども図書館からであれば、学校図書館司書に対して声をかけやすいと思うが、地域の図書館からだとなかなか難しいのではないかと。そういった場合の工夫はあるか。

(応募団体) 学校図書館との連携については、今年度から2回に分けて各区の学校図書館の方々とオンラインミーティングを行っている。

その中で、お互いに出向くのは困難だとわかったので、オンラインミーティングや電話の活用を提案した。

(構成員) 障害者の就労体験、職場体験の実施に当たり、車椅子の方が職場で移動できるような状況にあるのか。

(応募団体) 車椅子の方が就労体験する中で、事務室や閉架書庫などで移動する際にはどうしても制約がある。特に、門司図書館は建物自体が古く、車椅子等に対するハード面での課題はあると思うが、市と相談の上、可能な範囲での対応を模索していきたい。

(構成員) 「これからの図書館サービスのあり方について(答申)」の中の、「地域の人材など、これからの役割を担う人材の能力向上を図る」という視点を受けての、子ども目線での提案が多い。

今回の教育改革により、高校の探求学習が導入されており、それに伴い図書館の役割も随分変わっていくと思う。そのような状況の中で高校生や大学生、社会人との連携についての提案はあるか。

(応募団体) 利用者の中で一番、利用率が低いのが中学生高校生である。

どうしても勉強やクラブ活動などで図書館へ来る機会が減ってしまう

ことがある。そうした状況の中で、提案として挙げた「ボードゲーム」が一つのきっかけになると思う。

これは子どもだけに限らず中学生高校生も楽しめる企画であり、またその効果としては、多世代に渡って楽しむことができるものである。

○応募団体（(株) 図書館流通センター）より、門司図書館の提案概要に関してヒアリング及び質疑応答を実施。

- (事務局) 利益率10%の積算根拠は何になるのか。
- (応募団体) 一般的に10%は全体の中での利益率になるが、そこでの利益は粗利になる。弊社では一般管理費が粗利の額となる。
- (構成員) 勤務時間が週37.5時間になっている。会社のルールがあるとは思いますが、この時間で業務が回せるのか。
- (応募団体) 弊社の基準労働時間が37.5時間になっているので、その時間になっている。基本的にこの時間で十分、業務は回せる。
- (構成員) 本来の業務以外に新たな事業への取り組みとの提案があるが、そういった時にはプラスアルファの時間が出ると思うが、その対応はどうするのか。
- (応募団体) 基本的には現場のスタッフの勤務時間(37.5時間)の中で問題なく対応できると思う。例えば新たな事業等で現場スタッフだけでは対応できない時には、九州支社または本社がサポートしていくことになる。
- (構成員) 館長の人件費が若干高めになっているが、これは何か理由があるのか。
- (応募団体) 今回、提案している館長候補については、長年の経験がある。年齢が高いということで、人件費が多少高めになっている。
- (構成員) 今回、戸畑図書館に応募しなかった理由はあるのか。
- (応募団体) 指定管理の募集2館について検討した中で、実際現場にいる我々からすると、新たに2館同時の立ち上げは困難だろうという判断で、1館にすることになった。
- また、1館で門司にした理由は、元々、門司図書館の指定管理業務をやっていたという経緯があり、今回の館長予定者も、門司図書館での勤務経験があったということで、門司図書館の方に提案させていただいた。

○応募団体（シダックス大新東ヒューマンサービス(株)）より、門司図書館・戸畑図書館の提案概要に関してヒアリング及び質疑応答を実施。

- (構成員) 本市では新たな施設の管理ということになるが、人員確保の目途は付いているのか。
- (応募団体) 正直なところ、人員確保についてはこれから動いていく考えではある

が、弊社の社会サービス事業本部の中にも北九州市在住の者がいるので、そういった人脈もたどっていく予定である。

(構 成 員) 利用者ニーズの把握については、地域毎に特徴的なものも出てくると
思うが、どのように行う予定なのか。

(応募団体) まず提案書の中にあるとおり、「利用者アンケート」これを定期的に年
2回は必ず実施し、それに対する分析のフィードバックをしっかりと行う
ということと、それにプラスして、その地域の特徴を足を使って探ってい
くということも考えている。

(構 成 員) 障害者雇用の状況はどのようになっているのか。

(応募団体) 障害者雇用の状況は、日々、変化するもので、非常に難しいところがあ
る。弊社九州・沖縄支店には障害者定着支援員がおり、その者としっかり
連携しながら対応していく。

(事 務 局) 電子図書館のライセンスについては、シダックスが持っているものを
本市図書館で使用できるようになるのか。一般的には新しくライセンス
を買わないと、使用できないと思うが、その辺の仕組みはどのようになっ
ているか。

(応募団体) 貴市にマイナスにならないように実施していく予定であるが、まだ具
体的なことは申し上げられない。

(事 務 局) 電子書籍の導入に当たり、コンテンツ購入費用まで指定管理料で出せ
るとは思えない。シダックス本社が持っているライセンスで使えるよう
にするのか、そのお考えを伺いたい。

(応募団体) 指定管理料からではなく、会社としてコンテンツを準備していくとい
う提案である。

(事 務 局) その場合、シダックスが持っているライセンスを本市図書館が対価を
払うことなく使用することが可能なのか。

(応募団体) その点については、弊社の社長とも話が付いている。

(構 成 員) 図書館に新たな出費が生まれてくということはないということか。た
だ逆に指定管理が無くなったときには利用がストップするということに
なるのか。

(応募団体) 買い取りをした分だけ残るのか、それとも指定管理が無くなった時点
で全部利用できなくなるのか、この場では明確にご説明できない。

(事 務 局) 提案の電子図書館システムの関係で提案書にALT（外国語指導助手）
への人材確保をサポートという内容があるが、これについて詳しく伺い
たい。

(応募団体) ALTの方に電子図書館システムがどのように使えるかなどについて
弊社で指導させていただき、サポートするという内容で提案させていただ
いている。学校などで電子図書を利用する機会がもっと増えてくる中

で、このようなサポートがあることを認識していただけたらと思う。

(事務局) ALTに関しては、本市で既に契約を結んでおり、そのALTがこのサポートを受けられるものと理解してよろしいか。

(応募団体) 提案の内容としてはそのような理解でよいと思うが、曖昧な回答になってしまうので、この件については、一旦、持ち帰らせていただき、後日、改めて、回答させていただきたい。

(構成員) 電子図書について、図書館アプリを市立図書館全館に広げるという提案のようであるが、どういう告知をするのか。指定管理の図書館であれば館内で告知ができると思うが、それ以外の施設を利用される方に対してはどのように告知を行うのか。

(応募団体) 一般的には「図書館だより」に掲載させていただくとか、市の広報に掲載させていただく。または商業施設のチラシなど色々な広報を考えていきたいと考えている。

(構成員) 指定管理の期間が完了した後はどういう扱いになるのか。

(応募団体) こちらも現在、開発途中で、来年1月頃から利用できる予定になっているため、取り扱いについては検討させていただきたい。

- 次回の検討会で、各構成員が検討シートを持ち寄り、検討会としての審査結果を取りまとめることを事務局より説明し、第1回目検討会終了。

[第2回検討会]

- 構成員は、門司図書館及び戸畑図書館に対する応募団体の提案内容のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を発表。その後、構成員全員で意見交換を行った。

門司図書館（大里分館、新門司分館含む）

・「適性」についての意見

(構成員) 管理運営の理念について、日本施設協会は特別秀でた個性には欠けるが、図書館運営の経験があり、役割認識をきちんと持っているように感じた。人的・財政基盤は不安定な状況が見られなかった。

図書館流通センターは、図書館管理を得意とする会社で、独自性も発揮している。

人的・財政基盤は、不安なところは見られなかった。実績と経験は、ハンドブックを用いてスタッフの人材育成を行っている。

シダックスは、図書館管理の独自性が見られなかった。人的・財政基盤は、人員確保等の計画が曖昧な印象だった。実績・経験は、全国の比較的地方の図書館運営の実績はあるが、その成果というのが資料やプレゼン

の内容からわかりづらかった。

(構 成 員)

日本施設協会は、管理運営の理念のところは、これまでの実績等十分能力を有していると評価している。独自性、個性については、特別評価に値するものはないと感じた。

人的・財政基盤については、他の二社に比べると決して規模的には大きいとは言えないが、これまで実績もあるので、十分に運営をしていけると思う。

図書館流通センターについて、管理運営の理念のところは、「これからの図書館サービスのあり方について（答申）」における基本的な方向性を踏まえた提案が分かりやすくまとめられていた。

人的・財政基盤は全く問題なく、十分安定した運営が期待できると思う。

シダックスの管理運営の理念は、図書館運営の基本的視点などについては一応の能力を有していると思うが、独自性や個性については特に評価するものはなかった。

人的・財政的基盤は安定していて十分な能力を有していると感じた。

実績・経験等は、図書館業務、特に実績は十分だが、成果は、一応の能力を有していると思う。

(構 成 員)

日本施設協会については、実績・経験としては、長年、北九州の指定管理者を受託して司書の資格者も 91%であり、適切なサービスが今までできており、今後も期待できる。

図書館流通センターの理念と、実績・経験についてだが、北九州の図書館だけでなく、関連の図書館の指定管理も実績があるので評価をしている。経営状況だが、財務諸表を見たが特別に問題点はなかった。

シダックスは、いろんな細かい提案があるが、独自性とか北九州にとってどうなのかといった評価は、なかなか難しい面がある。

人的・財政基盤は、規模的にも安定感があるし、事業も幅広くやっているもので、その辺は評価ができると思う。

ただ図書館に限っては、実績・経験について北九州での経験が他の二事業者に比べて少ないので、比較して評価するのは難しいと思った。

(構 成 員)

日本施設協会は、管理運営の理念については、施設や建物管理的なところが多く、対人的な面が見受けられなかった。

実績・経験も、目新しいものもなく、わくわくしなかった。

図書館流通センターは、にぎわいづくりの視点とか、SDGsの視点、電子書籍の記載があった。

シダックスは、管理運営の理念の面で、全国的な感じと、来られる方を楽しませたいというイメージが見えた。

実績については、北九州の実績が全くないので、読めないところではあるが、色んな経験があると思った。

(構 成 員)

日本施設協会は現在もやっているということで、一定の評価をした。

図書館流通センターは、全国展開している団体ということで、都会感があるというか、サービスの質が高そうだという雰囲気があった。

シダックスの理念については、子供向けとか若者目線でやっていこうという感じが提案から伺えた。

・「有効性」についての意見

(構 成 員)

日本施設協会は、設置目的の達成に関する多くの提案をしており、達成できるかは別として、これだけのことをやるのであれば評価できる。

利用者満足度の向上については、一応の能力を有していると評価する。

図書館流通センターは、設置目的の達成について、すべての項目ですごくわかりやすい提案がなされており、十分な能力を有していると評価する。

利用者の満足度の向上のところだが、こちらもすべての項目でわかりやすい提案がなされており、十分な能力を有していると評価する。

シダックスは、設置目的の達成のところ、数多くの提案をしており、これだけ実施できるかは疑問ではあったが、達成できたらと思い評価した。電子書籍等の提案については、すごく魅力的な提案だが、不安要素が多いという評価である。

利用者の満足度の向上については、図書館サービスの質を向上させ、利用者の声を聴き反映させるためのPDCAサイクルを活用した取組及び体制は整っており、一応の能力を有していると評価した。

(構 成 員)

日本施設協会については、情報発信や、カフェスペース等の利用、地域の活性化を図るような活動が少し弱い。

利用者の満足度については、いろいろな情報を集めて対応策を図っていくようなことが書いていて、一定の対応を考えていると思った。

図書館流通センターは、いろいろなサービスが計画されているが、ニーズに対して提案が直結していないような気がした。

満足度については、スタッフの能力向上のための研修も十分にされており、様々な取り組みを評価する。

シダックスは、いろいろなイベントの提案や、有効性について、地域連携の体系図等が書かれているが、具体的な活動が非常に分かりにくい。

満足度については、いろいろな提案があるが、電子図書館や図書館アプリなど、今後の北九州の図書館運営の一つの方向性かもしれないが、費用とか運用のノウハウ、そういった特別なものがあると思う。

(構 成 員) 日本施設協会は、実績もあって、匂い対策などもきちんとしているが、次の運営に対する目玉を感じなかった。利用者満足度も、たくさん書いてあったが、具体的なものが見えてこなかった。

図書館流通センターは、調べる学習コンクールや未就学の保護者の参加等子育て支援的なことが書いてあったので、すごくいいと思った。門司の特性をすごく把握していると思った。

シダックスは、設置目的は具体的なことをいろいろ書いているが、それを実現できるかどうかは別として、障害のある人や、医療的ケア児のこと、妊娠中の人等への宅配サービスの提案もあったので、これは皆も望んでいると思った。

利用者満足度も、紙ベース以外のQRコードもあると答えやすいし、きちんと連絡できるし、ヒヤリハットは謳ってあるのはここだけだったので、そういう取り組みが次のいろいろなサービスに繋がると思った。

(構 成 員) 日本施設協会は、子どもの読書活動推進、子ども読書プランに沿った提案が示されており、大きなイベントを開催することだけに偏ることなく、日々のサービスの平準化に向けた工夫がみられた。

満足度だが、地域の声を反映して大人向けのイベントなどを行っていることは評価できると思った。また子ども図書館以外でも読書ノートの作成の取り組みは評価できると思った。

図書館流通センターは、ティーンズの棚づくりや、中高生を意識した取り組みが評価できると思った。いい提案がいっぱいあったが、果たして北九州で実現できるのかなというのがあった。

シダックスは、取組の提案は具体的なところがわかりづらかった。アプリや電子図書館のことも、具体的にどうなのかという部分があった。

満足度については基本的に三社も同じ感じかなという評価とした。

・「効率性」についての意見

(構 成 員) 効率性、特に経費、あとはバランスで、経費をどこにどんなふうに重点的に配分して活動するかというところは、トータルで見ると、特に問題はなく提案されていると思った。

日本施設協会は、適正に運営されているとは思った。

図書館流通センターは、館長の報酬が高く設定されているのが少し気になった。

シダックスは、大手の企業で、非常にうまく書いており、特筆すべきことはなかった。

(構 成 員) 日本施設協会は、全部きれいに使って利益がないが、これは本当なのか

と思った。

図書館流通センターは、ちゃんと利益はもらうと言っているのだから、これが普通だと思った。

三社とも帳面上はきちんとしていた。

(構 成 員) 指定管理に係る経費について、日本施設協会は、職員の質やモチベーション向上のために、処遇面の改善をした方がいいのかなと思った。

図書館流通センターは、他社と比べて経費に差があるのが少し気になった。

シダックスは、特に平均的で問題は見られなかった。

(構 成 員) 日本施設協会は、経費の削減等に取り組む姿勢は評価できるが、事業数が多いにも関わらず、事業費が少ないのがなぜかと思うところがあったが、今までの実績も考えてその辺は何とかなるのかなと思った。

図書館流通センターは、経費としては高い金額を提示しているが、その中で経費の考え方や、図書館の管理運営に係る収支計画の内容はすごくわかりやすかったので、安いからいいというわけではなく、経費の使い方が合理的で、無理のない計画で作られた計画書だと思った。

シダックスは、これまでの実績もあるが、図書館業務に関して市が示す経費より1%近く安く設定しているのは評価できるが、この経費でできるのかなという不安がよぎった。

・「適正性」についての意見

(構 成 員) 日本施設協会は、提案書、計画に取り組みなどが書いていたが、会社というより個々の職員が頑張っているというのがすごく出でおり、少し他力な感じがした。

図書館流通センターは、全国的な研修の支援等、職員体制、他からのバックアップ体制がきちんとしており、職員も働きやすいのではと思った。

事故対応も具体的で、パソコンのインターネット回線の引き分け等もきちんと書かれている。ユニバーサルデザインの明確化や、こころのバリアフリーや、講座の聴講の情報保障についても書いてあるのはここだけだったので、できたらすごいと思った。

手話通訳、要約筆記を準備しますと書いてあったので、平等に利用できると思った。

シダックスは、人員配置をきちんとしていて研修もあるのと、障害者雇用もうたわっていた。

(構 成 員) 日本施設協会は、積極的なレファレンスの向上とはうたっているが、資格・経験を生かして、カウンターの中だけでなく、カウンターを出た配置の提案というのもあったらいいと思った。

図書館流通センターは、たくさんの図書館を全国的に運営しているので、情報交換をして、北九州でもやっていってくれと思った。

危機管理の面で、すでに過去に災害があった岩手や熊本の図書館の管理経験を有しているので、対策を共有していると思った。

シダックスは、特に、特徴があるところはないが、無難な提案をしていると思った。

(構 成 員) 日本施設協会の管理運営体制については、これまでの実績も踏まえて、問題ないが、特にすぐれた提案というのを感じられなかった。障害者雇用に関する記載がなかったが、平等利用等については、事業計画の取り組みの内容から、十分な能力を有していると評価した。

図書館流通センターについては、障害者雇用についての取り組みを十分評価できると思った。平等利用等について、すべて項目について適切な提案がなされていた。危機管理体制等も十分であった。

シダックスは、内容が少しわかりにくい点もあったが、一応の能力を有していると評価した。平等利用等については、一応の能力を有していると判断した。

(構 成 員) 日本施設協会の管理運営体制だが、職責とその役割分担が組織的に展開されていることが説明されているが、障害者雇用で障害者を受け入れたとき、どういう仕事でどんなふうに関わってもらおうかというようなことは読み取れなかった。

図書館流通センターは、運営体制については読んでわかったし、平等利用についてはいろいろな方策を使って、皆が利用できるようなことが考慮されていると思った。

シダックスは、運営体制は、妥当な人員配置がなされており、それから平等利用についても、特に取り上げるような問題はなかった

(構 成 員) 平等利用等について高めの評価をしたのは、図書館流通センターで、ユニバーサル事業や全国規模の進んだ取り組みなどを、市内に取り入れることは高く評価ができると考えた。

○ 協議の結果、検討会として評価レベルを、

株式会社日本施設協会は、

適性 (1) 施設の管理運営に対する理念は4、(2) 人的・財政的基盤は4、(3) 実績・経験は4、有効性 (1) 設置目的の達成は4、(2) 利用者の満足向上は3、効率性 (3) 指定管理料は3、適正性 (5) 管理運営体制は3、(6) 平等利用等は4に決定。

株式会社図書館流通センターは、

適性（１）施設の管理運営に対する理念は４、（２）人的・財政的基盤は４、（３）実績・経験は５、有効性（１）設置目的の達成は４、（２）利用者の満足向上は４、効率性（３）指定管理料は３、適正性（５）管理運営体制は４、（６）平等利用等は４に決定。

シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社、

適性（１）施設の管理運営に対する理念は３、（２）人的・財政的基盤は３、（３）実績・経験は３、有効性（１）設置目的の達成は４、（２）利用者の満足向上は３、効率性（３）指定管理料は３、適正性（５）管理運営体制は３、（６）平等利用等は４に決定。

- 事務局は合計得点を発表し、検討会として、株式会社図書館流通センターが市の要求水準を満たしており、十分な能力を有していると認められた。

戸畑図書館

・「適性について」の意見

（構成員） 日本施設協会は、管理運営に対する理念について、独自性はないが、図書館の正確性を理解した内容だと思った。

実績・経験は、現在戸畑図書館で、職員全体であらゆる取り組みがなされていると評価した。

シダックスは、管理運営に対する理念について、図書館管理の独自性は見られなかった。人員確保等が曖昧な印象である。

実績・経験も、図書館運営の実績、成果というのがわかりづらかった。

（構成員） 日本施設協会は、管理運営の理念は、現在の指定管理者ということを踏まえ、十分な能力を有していると評価する。人的・財政基盤のところは、財政的な問題はなく、資産規模は決して大きいとは言えないが一応の能力を有していると評価した。

実績・経験については、図書館運営等の実績から、専門的知識や資格、経験は十分な能力を有していると評価できる。

シダックスは、管理運営の理念については、一応の能力を有していると思う。人的・財政基盤については、財政基盤については、十分な能力を有していると思った。

実績、経験の方については、これまでの実績も十分評価できるが、成果についてはわからなかった。

（構成員） 日本施設協会は、指定管理者をやっているという実績から、経験やスキルなど、いろいろな改善に向けての取り組みがあり評価できる。

人的・財政基盤については、要員の確保のところ、現在の指定管理者で、雇用を継続することができるので特に不安はないと思う。

実績・経験は、長年公立図書館の運営実績があるため評価する。

シダックスは、管理運営の理念、人的・財政基盤は評価できるが、実績・経験については、北九州での経験が少ないので評価が難しい。

(構 成 員) 日本施設協会は、管理運営の理念は、独自性がないと感じた。人的・財政基盤は、財政はちょっと弱いかもしれないが、人的なものは、すごく充実していると思う。

シダックスは、人的なものは未知数だが、北九州にはない色々な提案を提供していて、図書館にはない経験がもしかしたら違うところに波及してプラスになるのかなと思った。

・「有効性」についての意見

(構 成 員) 日本施設協会は、施設の設置目的の達成に係る数多くの提案は評価できる。利用者満足度向上も、この内容に当たる提案がきちんとされており、一応の能力を有するとして評価した。

シダックスは、設置目的の達成については数多くの提案があるが、これだけ実施できるのかどうか、不安なところはある。

電子図書の利用については、すごく魅力的な提案だと思うが、実際できるのかどうか不安要素が多い。利用者満足度向上のところは、図書館サービスの質を向上するため、利用者の声を取り入れるための「PDCA」サイクルを活用した取組体制等は、評価できる。

(構 成 員) 日本施設協会は、いろいろな提案が書かれているが、利用者ニーズも広く取り込んで関連機関との連携を計画しており、意欲を感じる。

シダックスはいろいろな活動機関と連携した計画があるが、地元の自治体やホームページ、情報発信についての記述、カフェスペースの活用について書かれていないのは気になった。

(構 成 員) 日本施設協会は、展示等の情報提供が紙ベースのみで目新しさを感じない。せつかく高校との連携をうたっているのに、一つずつ単独で繋がっていくような提案だったので、連携が必要だと感じる。

返却本の配架の迅速な対応と書いてあったが、ニーズがそんなにあるのかと思った。話題になった本の提供をするような記述もなく、利用者の満足度向上は、積極的なものを感じなかった。

(構 成 員) 日本施設協会は、地域の施設や学校図書館との連携が、少しずつ前向きに取り組んでいることは評価できる。

利用者の満足度については、図書館の構造上利用しづらいところもあるが、案内版の設置の仕方など、工夫したらいいと思った。

(構 成 員) 日本施設協会の取り組みで言うと、利用者同士の推し本の企画。これは

非常に面白い取り組みだと思った。

・「効率性」についての意見

(構 成 員) 日本施設協会は、いろいろな経費があるが、効率的、効果的で妥当ではある。その中で、日常的な費用削減活動というようなものを、活動の中に入れていかないといけないと思った。

シダックスは、あまり細かい説明がないが、予算をうまく使っていくということを日常的に管理していく必要があると思った。

(構 成 員) 日本施設協会は、経費節減の取り組み姿勢は評価できるが、事業の提案が多いにも関わらず、事業費がないのが疑問に感じた。

シダックスは、管理運営にかかる費用については、市の示す経費の上限の中で0.5%低く収まっているところは評価できる。

戸畑の場合カフェを運営するという条件がついていると思うが、シダックスはカフェの計画がなかった。

・「適正性」についての意見

(構 成 員) 日本施設協会は、管理運営のところに障害者雇用というのが書いてあるが、特別支援学校の見学や就労に役立つデュアルシステムへの協力、制作物の展示などを図書館で行っており、就労支援を担っているということを書いているのは、かなり視点がずれていると思った。

事故に対する取組はいろいろとしており、カウンターに無人の時間を絶対作らないとあったが、少ない人数で現実的には無理な時間もあるのではと思った。

平等利用に関しても、社会的弱者や図書館を利用しにくい人に対する提案が全くなかった。

シダックスは、平等利用に関しては、借りにくい方にアウトリーチするために、わざわざ出向いていこうと提案しているのは、現実にはできないかもしれないが、提案自体を評価した。

(構 成 員) 日本施設協会は、現在、戸畑図書館を運営しているが、実際行ったらわかるが、すごく閉鎖的な感じがして、今はコロナ対策でビニールの仕切りがあり、声もかけにくく、しかしカウンター内には結構人がいる。

図書館の棚のところには図書館員が一人もいないため、何か聞きたくても聞きづらい。

1階も2階もそうだが、少し閉鎖的な感じがあるので、人員を有効に配置する配慮が欲しい。それでも今運営はきちんとされているとは思いますが。

シダックスの提案は、特に問題はないと思うが、果たしてできるのかというところもあった。

(構 成 員) 日本施設協会は、指定管理、危機管理については、これまでの実績から、

管理体制には問題はないと考えるが、特に優れた提案等はなく、障害者雇用に関する記載はなかった。平等利用等については、取組内容から十分な能力を有していると評価した。

シダックスについては、管理体制に関し一応能力は有していると評価する。平等利用等については、特に評価すべき点が見つからなかったが、一応の能力を有していると判断した。

- 協議の結果、検討会として評価レベルを、

株式会社日本施設協会は、

適性（１）施設の管理運営に対する理念は４、（２）人的・財政的基盤は４、（３）実績・経験は４、有効性（１）設置目的の達成は４、（２）利用者の満足向上は３、効率性（３）指定管理料は３、適正性（５）管理運営体制は４、（６）平等利用等は４に決定。

シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社、

適性（１）施設の管理運営に対する理念は３、（２）人的・財政的基盤は３、（３）実績・経験は３、有効性（１）設置目的の達成は４、（２）利用者の満足向上は３、効率性（３）指定管理料は３、適正性（５）管理運営体制は３、（６）平等利用等は４に決定。

- 事務局は合計得点を発表し、検討会として、株式会社日本施設協会が市の要求水準を満たしており、十分な能力を有していると認められた。
- 事務局から門司図書館と戸畑図書館のそれぞれについて合計得点が発表された。検討会は、検討会における議論も十分に考慮し、最終決定を行うよう市に求めることとする。